

ずっとと土浦

7班

信賀春輝 長山寛之 影石結衣
田宮圭祐 徳谷祐輝 根本美里
TA：志田雄毅

はじめに(現状・課題)

土浦市には、様々な分野の課題がある。その中でも、特に私たちは人口流出に着目した。ここ数年、土浦市の人口は、平均で年500人ずつ減少している。1年に500人、人口が減少することは、1年の歳入が1.5億円減ることを意味し、このことから、人口流出の阻止が重要であると考えた。



社会減少
平成25年 379人
平成26年 300人
平成27年 842人
平均507人減

歳入が1.5億円/年減少

人口流出の阻止が重要

全体構想

市民ひとりひとりにとって
ずっと
住み続けたいまちへ



グループタクシー

複数人で乗り合うほどお得に移動できるグループタクシー制度の導入

登録料負担→300円分の利用券を20枚発行

専用アプリ・ウェブ・電話で使いたい日時・区間を予約

乗車時に1人1枚利用券を使用可能、超過分の運賃は現金支払い

- 4人で乗り合い→市内ほぼ全域から利用券のみでスーパーに行ける(右図参照)
→ 交通空白地帯の解消へ
- 地域内で乗り合いの推進でコミュニティの再興
→ 自助の形成の基礎にも波及



環境整備税

財政収支の見通し(歳入-歳出)



課題

市民の景観に対する意識

	満足度(1-5)	重要度(1-5)
新治地区	2.75	4
北部地区	2.79	4.21
中央地区	2.69	4.17
南部地区	2.8	4.07

市民満足度調査より「まちや自然の景観の向上」と「湖や川をきれいにする対策」という項目の平均値

市民が参加して土浦市の課題解決を図る

1. 市民が清掃活動のボランティアに参加する仕組み
2. ボランティア参加によるまちの美化
3. 税収、コミュニティ、地元愛などの波及効果



地域貢献企業認定制度

地域貢献を行ったり社会的責任を果たす企業を認定することで産業分野の課題解決を!



評価項目

- ①地域社会貢献
- ②雇用
- ③環境

評価ランク

- ★ ①から③ 1つ基準達成
- ★★ ①から③ 2つ基準達成
- ★★★ ①から③すべての基準達成

認定企業には
認定マークの利用や
ホームページに掲載

労働環境の向上によりずっと住み続けたいまちに



ぐる輪タウン (駅前整備事業)

現在の計画

PLAY atre
TSUCHIURA

新たな提案

モール505

国内最大級のサイクリングリゾート

- サイクリング客向けベースキャンプ
- 茨城のフードマーケット
- 観光客向けホテル

自転車メーカーの誘致

サイクリングイベントの開催

- 展示イベント @ うらら広場
- サイクリングツアー

街のにぎわい → 暮らしやすさの向上
「自転車の街」というアイデンティティ → 住みたい街に

地区別構想(まとめ)

提案を地区別に分けると以下の表ようになる。

	中央	北部	新治	南部
グループタクシー		◎	◎	◎
環境整備税	◎	○	○	○
認定制度	○	◎	○	
ぐる輪タウン(駅前整備事業)	◎			
CSA(地域支援型農業)			◎	
アプリ(防犯、市民協働等)	○	○	○	○
隣組制度	○	○	○	○
介護サポートネットワーク	○	○	○	○
子育て広場@霞ヶ浦総合公園				◎

新治地区

農と交でつながるまち

農業
CSA(地域支援型農業)

交通・住宅・環境
グループタクシー

北部地区

工業とともに伸びゆくまち

商業・工業
認定制度

交通・住宅・環境
グループタクシー

中央地区

回遊性のあるまち

都市基盤・商業
ぐる輪タウン

財政・景観・観光
環境整備税

南部地区

ふれあい輝くまち

教育
子育て広場

交通・住宅・環境
グループタクシー